

<第109回キャンパス・サミット資料>

平成29年12月19日

福工大「ビオトープ」及び新宮町「人丸公園ビオトープ」活動報告

社会環境学部 坂井宏光

**1. ビオトープ活動～** 平成29年度の冬のビオトープ活動は、**12月9日(土) 9:30～12:00**に**第47回自然観察会**を開催しました。テーマは「冬の里山・ビオトープの自然観察と籠編み体験」活動で一般は15名、学生33名が参加しました。冬の装いに変化した里山・ビオトープを五感で観察した後、クズの蔦を採取しました。そして、クズの籠編み体験を楽しみました。参加者は個性的な籠やクリスマスリースなどを製作しながら、楽しく交流しました(下の写真)。

今年も里山・ビオトープ活動を無事、終了しました。平成18年から今年度47回までの**延べ参加人数は、12年間で1,532名**になりました。親子の参加者は、特に自然環境の中で五感を駆使して遊びながら感性を高め、環境学習で親子の絆を深めていました。今後も春、夏、秋、冬の4回の自然観察会を開催するなど、地域の環境活動拠点として、継続的に環境学習・環境教育を進めます。



冬の自然観察風景 (12月9日撮影)

籠編み体験

籠などの完成品の鑑賞

**2. 新宮町「人丸公園ビオトープ」活動～** 10月25日に本学でNPO法人ビオトープ協会主催の研修会が開催されました。その後、参加した一般企業の12名と学生26名が人丸公園ビオトープに移動し、自然観察を行いました(下の写真)。造成して約1年半後のビオトープは、徐々に自然が再生している景観です。造園企業の関係者が学生達と交流しながら、ビオトープの自然観察を行いました。秋が深まり、カエルが冬眠の準備をしている様子などが観察できました。

今後の活動として平成30年度も定期的に自然観察を継続的に行う予定です。



人丸公園ビオトープの全景 (10月25日撮影)

生きもの調査&自然観察風景